

フードバンクちはり通信

フードバンクちはり 〒260-0835 千葉市中央区川崎町60（花の駅そが内）

南房総エリアに新たな拠点、「フードバンク安房」がスタート

Vol.29

2025年
10月発行



昨年11月6日に開催された開所式には、波左間区長をはじめ、館山商工会議所、千葉県健康福祉指導課、協力団体の皆さんにお集まりいただきました。

CONTENTS

- ① 南房総エリアに新たな拠点、「フードバンク安房」がスタート
- ② システム化の導入による成果と課題
- ③ 物価高騰や令和の米騒動がもたらした影響と食料支援の取り組みの広がり
- ④ フードドライブから様々な支援の形が生まれています。
- ⑤ 2024年度報告
- ⑥ 千葉県フードバンク団体連絡会の活動について

現在の支援状況

2025年4月~9月までに提供した食品

団体: 約**38.1**トン
(のべ336件)

個人: 約**8.0**トン
(のべ993件)

内訳: お米・調味料・パスタ・そうめん・缶詰・菓子・飲料・災害備蓄品など

必要な時に、必要な場所に、迅速に柔軟に食品を届けられる拠点へ

南房総エリアでは、少子高齢化が進むとともに、令和元年房総半島台風の被害やコロナ禍により地域経済は大きな影響を受けました。一方で、観光業や農業の振興、また都心からのアクセスの良さを活かした移住・定住促進も進んでおり、今後は子ども食堂等のコミュニティ活動の広がりも期待されています。フードバンクちはりでは、南房総地域での拠点設置に向けて、これまでフードドライブを中心に培ってきた連携を活かし、安房3市1町の社会福祉協議会、中核地域生活支援センター、生活協同組合、子ども食堂、地元NPO等で構成する協議体による運営を目指し、「食のセーフティネット」の必要性の共有、地域ニーズの把握、役割分担等を検討し、実際の活動体験も重ねながら、約1年半かけて方向性を固めてきました。その第一歩として、昨年11月に館山市波左間にある空き家を活用し「フードバンク安房」をスタートしました。千葉県を対象としたフードドライブでの南房総エリアの窓口では、お米を中心に多くの食品が集まりますが、これまで集まった食品をフードバンクちはりで回収していました。「フードバンク安房」では、フードドライブによる寄贈食品を安定的に確保できるため、食料支援のニーズに迅速に対応することが可能となります。昨年度はすでに1トン以上の食品をいただきました。困窮者支援はもちろん市民による地域コミュニティの立ち上げや継続を後押しできると考えています。



食品の保管には押し入れを活用 の 設

コープみらい食品寄贈ボックス設置県内15か所目 「館山市元気な広場」でフードドライブ

生活協同組合コープみらいは、館山市から指定管理者として受託・運営する子育て支援施設「館山市元気な広場」でのフードドライブを9月から開始しました。施設内に食品寄贈ボックスを常設し、地域の皆さんから食品を募ります。寄贈いただいた食品は「フードバンク安房」に提供されます。今回のフードドライブは、施設利用者からの要望から実施につながりました。



オリジナルアプリによる入出庫管理・在庫管理・集計作業の一元化

休眠預金事業を活用して開発してきたオリジナルアプリですが、現場で運用してみることで初めて見えてくる課題も多く、設計当初の想定を超える負荷や修正に加え、不具合の見極めや改善への対応に追われ、運用開始からあっという間に1年以上が経過しました。株式会社エイジスには、開発期間が終了した後も、私達の要望やトラブルに根気強く対応していただき、本当に感謝しかありません。時間はかかるても汎用性の高いものに仕上げていきたいと思っています。スタッフにとっても、従来のアナログ体制からの大幅な業務変更に慣れるまで時間がかかりましたが、ようやくルーチン作業として定着しつつあります。寄贈品をQRコードで管理し、入出庫・在庫管理から集計作業までの一元化することで、作業の省力化が確実に進んでいます。



公式ホームページをアクセスの中心に

ホームページも昨年リニューアルしたばかりですが、各種機能や情報掲載等を少しずつ整えながら運用しています。フードバンクちばへの様々なニーズへのアクセスの中心としてホームページを位置づけることで、初めて関心を持たれた方や寄贈や提供を検討されている方はもちろん、関係団体とのつながりにも一役買っています。

●「お問い合わせフォーム」を活用した効率的な対応

毎日、フードバンクちばには、「食品寄贈」「食品提供」「お金の寄付」「フードドライブ」「ボランティア」「視察・学習会の依頼」等、様々な問い合わせが電話やメールで寄せられます。「お問い合わせフォーム」を活用し、内容ごとに担当を分担することで、これまで少人数スタッフでは煩雑だった対応業務を整理し、順序立てて進められるようになりました。

●「寄贈申込みフォーム」でお申し込みが

「寄贈申込みフォーム」を入力いただくことで、寄贈品等の情報が直接アプリに読み込まれ、その後の作業を効率的に進めることができます。ご寄贈を希望される企業や団体の皆さんには、ご入力のお手間をおかけすることになりますが、ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。また、寄贈式や写真撮影等も隨時行っていますので、ぜひご相談ください。

● 支援団体向けの「食品配送申込みフォーム」の導入

支援団体を通じて申請される緊急性の高い個人への支援依頼は、これまで申請書をFAXで送付という形をとっていましたが、フォームによる申請受付を段階的に進めています。フォームを入力することで、宅配便の送付状まで作成できる仕組みとなっています。当日受付、当日発送という限られた時間で対応しているため、この仕組みが定着すれば、大きな業務効率化が期待できます。しかしながら、各支援機関に導入いただくには、システム面の課題も含め、丁寧な説明が必要なため、慎重に進めていかなくてはなりません。

物価高騰や令和の米騒動がもたらした影響と食料支援の取り組みの広がり

2024年度のお米の寄贈は前年の2分の1に

長引く物価高騰により家計への負担が増す中、生活に困窮する方々にとっては厳しい状況が依然として続いています。そんな中での米騒動は、フードバンクにとっても大きな影響をもたらしました。例年、9～10月のフードドライブでは、新米が出回る時期にあたるため、古米が多くフードバンクに寄贈されます。2023年度は30キロの玄米で200袋以上の寄贈がありましたが、2024年度は30袋にも満たない結果となりました。さらに毎年、新米を寄贈してくださる企業の皆さまからは、価格の高騰で実質的に寄贈量が減っていました。概算ですが、昨年のお米の寄贈は前年の2分の1程度にとどまり、その影響で食品の総寄贈量は前年比30%減と大きく落ち込みました。幸い、お米の在庫が相当量あったため、すぐに支援に影響する事態にはなりませんでしたが、先行きが見通せない状況に不安が一気に高まりました。しばらくは様子見の状態が続き、団体へのお米の支援では、提供量を調整させていただいたりと、多くの団体にご迷惑をおかけすることになりました。

新たなお米の寄贈が相次ぎ、フードバンクにとって大きな支えとなりました。

今年に入ってからは、生活協同組合や企業による食料支援の取り組み、政府 2025/10/2付 毎日新聞に掲載されました。備蓄米無償交付等で、新たなお米の寄贈が広がり、寄贈量も少しずつ回復してきています。懸念されていた大学生支援プロジェクトでのお米の配布も従来通りの量をお渡しすることが出来ています。ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。しかしながら、お米をはじめ食品の寄贈量は以前の水準には程遠く、依然として食品の確保が必要な状況が続いています。

● 生活協同組合コープみらい・生活クラブ生協

コーポみらいでは、コロナ禍以降、生産者支援の取り組みの一環として、お米の寄贈をいただいている。お米が不足した時期は、パックごはんやロングライフパンで代用していただき、現在はカリフォルニア産「カルローズ」をご寄贈いただいている。生活クラブ生協では、昨年から始まった「おふくわけ」の取り組みの一環で、組合員の注文をまとめてお米をご寄付いただきました。約1500人の方にご注文いただき、5キロの国産米を約180袋ご寄贈いただきました。いただいたお米は県内のフードバンク団体で分配させていただきました。

● イオントップバリュ株式会社

イオントップバリュ株式会社では食の支援を必要とされる方々に毎日の食卓に欠かせないお米を届ける取り組みとして、一般社団法人全国フードバンク推進協議会の協力のもと、カリフォルニア産カルローズ米「かろやか」を、日本各地のフードバンク団体に寄贈いただく運びとなりました。総寄贈量は37トンの予定です。その1カ所目として8月末に「フードバンクちば」にご寄贈いただきました。

● 農林水産省

農林水産省では食育の一環として、フードバンク、こども食堂・こども宅食へ政府備蓄米の無償交付を行っていますが、米価の高騰により、寄付が集まりにくくなっている状況を鑑み、追加支援も実施しています。フードバンクちばでは9月から3ヶ月間毎月約1トンの無洗米を交付いただいています。

● 個人の方々からの支援

昨年激減してしまった個人の方々からの寄贈も少しずつ増えてきてます。わざわざ購入して送ってくださる方も多く、皆さまから受け取った温かい想いもこめて、お困りの方々へお届けしています。



各団体からご寄贈いただいたお米。左から、政府備蓄米（農林水産省）、カリフォルニア産カカルローズ米「かろやか」（イオントップバリュ株式会社）、カリフォルニア産「カルローズ」（生活協同組合コープみらい）、パールライス（生活クラブ生協）

フードドライブへの取り組みを機に、様々な支援の形が生まれています。

社会的に「食品ロス削減」が推進される中、様々な団体がフードドライブに取り組んでくださっています。一方で千葉県でも「生活困窮の問題」は長期化の様相を呈しています。食品ロス削減をきっかけに生活に困窮している方々の現状を知りたいことで、さらに支援の輪が広がりを見せています。「支援が必要な方々の役に立ちたい!」という皆さまの思いやりの気持ちが、フードバンク活動の大きな原動力になっています。

第36・37・38・39回フードドライブにご協力いただきありがとうございました。

第36回:8.8トン・第37回:16.6トン・第38回:13.6トン・第39回:7.7トン

フードドライブで回収した食品の約80%が約100ヶ所の回収窓口を通じて、地域の生活困窮者や子ども食堂等の団体で活用されています。これまでフードドライブでの回収率が高かった南房総エリアにフードバンク安房ができることによって、さらに地域内への還元が進んでいくことになります。今後は、毎年1~2月、5~6月、9~10月の年3回、初月の第3月曜日(祝日の場合は翌火曜日)から次月末までの期間(基本平日)で実施予定です。しかしながら、物価高騰や令和の米騒動の影響もあり、全体の寄贈量は減少傾向にあります。回収拠点を増やしていくことも含め、食品の確保に向けてあらためて体制を見直していく時期に来ているのかもしれません。

生活協同組合の仕組みを生かした、新しい支援の形が広がっています。

千葉県内の各生活協同組合とフードバンクは、2017年より毎年9月から11月に県生協連も含めた「フードドライブ連携キャンペーン」を行っています。しかし、食品ロス削減への取り組みや社会情勢の影響によりここ数年は回収量が減少していました。そこで、フードバンク応援企画としてパルシステム千葉の「まごころセット」を皮切りに、生活クラブ千葉では「おふくわけ」を実施し、コープみらいはこの冬から「ほっこりセット」の販売をスタート予定です。組合員の皆さまにお買い上げいただいた食品は、各生協からそれぞれの地域のフードバンク団体へ寄付されます。

千葉ロータリークラブ加盟企業を中心に、多くの企業や団体がフードドライブにご協力くださっています。

フードドライブで食品を寄贈することで食品ロス削減を困窮者支援へ役立てることはもちろん、企業の方々にとっては、廃棄コスト・環境負荷の軽減、さらには社会の役に立つ活動をしたいという働く人たちのモチベーションの向上やCSRの推進等のメリットにつながります。

ジェフユナイテッド市原・千葉

クラブ理念の1つである「地域・社会の課題解決」に向けての取り組みとして、フードドライブを位置付け、4/20(日)2025明治安田J2リーグ第10節大分トリニータ戦、9/27(土)2025/26 SOMPO WEリーグ第8節ちふれASエルフエン埼玉戦・第31節ロアッソ熊本戦で実施。11/9(日)第36節藤枝MYFC戦でも国際協同組合年企画として実施予定です。

千葉ジェットふなばし

今年も4/26日(土)、27日(日)の2日間に渡り、昨年よりホームアリーナとなったLaLa arena TOKYO-BAYで行われた秋田ノーザンハピネッツ戦でフードドライブを実施していただきました。

コストコホールセールジャパン株式会社

今夏、全国の倉庫店でフードドライブを実施し、フードバンク千葉には、コストコ幕張倉庫店および市原物流センターで集めていただいた食品をご寄付いただきました。

株式会社日本資産総研

一昨年より継続的なご支援をいただいています。寄付金と社内でのカンパを合わせて毎回多額のご寄付をお届けください、さらにボランティア活動にもご協力をいただいています。

NTT東日本千葉事業部

「NTT仕分け隊」の派遣や昨年からスタートした「福島ひまわり里親プロジェクト」等の活動はメディアにも取り上げられ、フードバンクの周知に大きく貢献していただいています。

天台宗北総仏教青年会

天台宗の寺院に所属する青年僧の団体で、お中元やお盆期間中にお供えされた各寺院では消費しきれない品をフードバンク千葉にお届けいただいています。北総教区内の17か寺の寺院よりご寄贈いただき、この秋で5回目になります。



年間を通じてフードドライブを実施している企業・団体

株式会社イトーヨーカ堂(県内3店舗)・大多喜ガス株式会社(県内2店舗)・株式会社ダイエー(千葉市内1店舗)・株式会社銚子丸(県内全店舗)・千葉マリンスタジアム株式会社(千葉市内7施設)・株式会社マルエツ(千葉市内6店舗)・株式会社ミスター・マックス・ホールディングス(県内3店舗)・株式会社レプロ(県内全店舗)・生活協同組合コープみらい(千葉市内3店舗)

たくさんの企業・団体がフードドライブに取り組んでくださいました。

旭建設株式会社、Aroマルシェ、イオン従業員組合、市原中央ロータリークラブ、UAゼンセン千葉県支部、エー・シー・エス債権管理回収株式会社、社会福祉法人笑顔、NTT東日本千葉事業部、株式会社カーブスジャパン、勝浦市役所生活環境課、株式会社かんぽ生命保険千葉支店、株式会社京葉銀行、幸町東自治会、JA千葉中央会農業対策部、JFEスチール労働組合、株式会社JALサンライト、池証山鴨鳩寺正覚院、社会福祉法人翠昂会、スパイラックス・サーク合同会社、生活協同組合(コープみらい・生活クラブ千葉・千葉県生活協同組合連合会・千葉県庁生活協同組合・なのはな生活協同組合・パルシステム千葉)、生長の家白鳩会千葉教区連合会、一般社団法人全国スーパーマーケット協会、損害保険ジャパン株式会社、ダイハツ千葉販売株式会社、TIPTOP、株式会社千葉銀行、千葉県循環型社会推進課、千葉県信用保証協会、千葉県ママさんバレーボール連盟、株式会社千葉興業銀行、千葉市高齢障害支援課、千葉市廃棄物対策課、千葉市緑区南部ブロック補導員、株式会社千葉ステーションビル、千葉フード連合(合同酒精労働組合・ヒゲタ醤油労働組合他)、千葉トヨタ自動車株式会社、株式会社千葉マツダ、千葉ロータリークラブ、銚子信用金庫、帝京大学ちば総合医療センター、ティップス蘇我、東京電力パワーグリッド株式会社千葉支社、東洋羽毛工業株式会社、なごみの湯訪問看護ステーション、新御堂寺、フィデス株式会社、フジセイコー株式会社、株式会社富士通エフサスChibaHub、フードバンクを支援する会、三井住友海上火災保険株式会社、妙宣寺、明治安田生命保険相互会社千葉支社、モランボン株式会社千葉営業所、リコージャパン株式会社他

2024年度報告：食品の支援実績をご報告いたします。

【支援量】 76.9トン (前年比 85% ↓)

団体 のべ 599団体 60.3トン (前年比 84% ↓) 個人 のべ 2056件 16トン (前年比 89% ↓) その他 0.6トン

● 食品を支援した団体

あいこカフェ、おむすび食堂、すぼっと幕張、ちばこどもおうえんだん、ちば産学官連携プラットフォーム、ハイジの会、ハイティーンズサポートちば、ピッピ子ども食堂、みんなのトイトイ食堂、ゆめいろ食堂、一般社団法人マザーズ・コンフォート、学校法人千葉朝鮮学園、株式会社ベストサポート、鴨川みんな食堂、館山ぬくもり食堂、顔見知り食堂「わいわい」、幸福軒子ども食堂、子ども食堂 ひまわり、習志野子ども食堂ネットワーク、NPO BRIGHT、千葉市東部・西部児童相談所、辰巳台地域子ども食堂だんだん、特定非営利活動法人さくら まちネット、特定非営利活動法人子どもセンター帆希、特定非営利活動法人想創、富津こども食堂 きみはま さっちゃん食堂、満腹食堂、木更津みなど口こども食堂、ever Linc、NPO法人アビィーズ、オリーブ轟、NPO法人とどろき、ワークショップばれっと、花の実園、支援センターはなみがわ、特定非営利活動法人市川ガンバの会、千葉愛の教会、労働・生活相談 in ちば 他

● 食品を提供した関係機関

行政(15団体)、社会福祉協議会(11団体)、生活困窮者自立支援事業者(10団体)、中核地域生活支援センター(9団体)、高齢者関係機関(3団体)

● 個人への食品配達申請機関および団体

行政(32団体)、社会福祉協議会(31団体)、生活困窮者自立支援事業者(27団体)、中核地域生活支援センター(10団体)、高齢者関係団体(14団体)、その他の団体(4団体)

2024年度報告：団体や企業からたくさんのご寄贈をいただきました。

【支援量】70.6トン（前年比66%↓）

団体のべ137団体 35.6トン（前年比74%↓）

個人（団体フードドライブ含）32.3トン（前年比55%↓）内フードバンクちばへの持ち込みおよび送付 のべ272件 2.7トン

【主な寄贈団体】（敬称略・50音順）（注）公表を希望されない団体・企業様については、こちらには掲載しておりません。					
あいおいニッセイ同様損害保険株式会社千葉支店	防災備蓄食品	348.5kg	株式会社千葉興業銀行	防災備蓄食品	76.5kg
アサヒグループ食品株式会社	フリーズドライ食品 菓子 他	420.7kg	ちば斎苑管理グループ	防災備蓄食品	110kg
旭市総務課	防災備蓄食品	1308.7kg	千葉財務事務所	防災備蓄食品	39kg
社会福祉法人笑顔	防災備蓄食品	74.7kg	千葉市防災対策課	防災備蓄食品	761.6kg
エステ・スクエア青葉の森管理組合	防災備蓄食品	57.9kg	千葉市立海浜病院	防災備蓄食品	87.6kg
NTTドコモ北海道支社	防災備蓄食品	291.6kg	株式会社千葉ステーションビル	防災備蓄食品	201kg
NTT東日本千葉事業部	防災備蓄食品、缶詰	303.2kg	月島シェイクノメンテサービス株式会社	防災備蓄食品	166.6kg
エヌ・ビー・ワイ株式会社	米	200kg	株式会社テルヴィス	飲料、菓子	485.4kg
株式会社M.K.T.	防災備蓄食品	38.6kg	東京電力パワーグリッド株式会社	防災備蓄食品	157.8kg
有限会社オフィス5	菓子	50.7kg	東方地所株式会社	米	498kg
柏市地域生活支援センターあいネット	防災備蓄食品	188.2kg	東洋佐々木ガラス株式会社	防災備蓄食品	53.1kg
株式会社環境管理センター	防災備蓄食品	276kg	株式会社ドコモCS	防災備蓄食品	87.4kg
株式会社関電工千葉支店	防災備蓄食品	41.4kg	苗場福祉会 純恵の郷	防災備蓄食品	32.3kg
株式会社環境管理センター	防災備蓄食品	291.6kg	株式会社永谷園ホールディングス	フリーズドライ食品 他	103.5kg
関東生乳販売農業協同組合連合会	牛乳	192kg	株式会社ニチレイフーズ	米	100kg
株式会社菊廻舎本店	菓子	228kg	株式会社日本資産総研	防災備蓄食品	51.6kg
君津市役所環境衛生課	防災備蓄食品	451.5kg	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	飲料	355kg
京成建設株式会社	防災備蓄食品	48.8kg	農林水産省関東農政局	防災備蓄食品、缶詰	118kg
京成電鉄株式会社	防災備蓄食品	50kg	野田市役所防災安全課	防災備蓄食品	262kg
KDDI株式会社南関東総支社	防災備蓄食品	406.9kg	生活協同組合パルシステム千葉	食品各種	880.9kg
一般社団法人京葉食品コンビナート協議会	防災備蓄食品	410kg	東日本旅客鉄道株式会社	飲料、菓子	298.8kg
生活協同組合コープみらい	米、防災備蓄食品 他	4854.2kg	株式会社マイスクワード	菓子	115.4kg
JA全農ちば	米	900kg	みずほ信託銀行千葉支店	防災備蓄食品	204.9kg
株式会社JERA千葉火力発電所	防災備蓄食品	94.5kg	三井住友カード株式会社	防災備蓄食品	14.9kg
社会保険診療報酬支払基金	防災備蓄食品	76.1kg	三井物産株式会社	防災備蓄食品、惣菜用調味料	500kg
生活クラブ生活協同組合千葉	缶詰	30.6kg	株式会社mizkan	飲料	65kg
株式会社セブンイレブン・ジャパン	防災備蓄食品	30.6kg	株式会社美浜フーズ千葉工場	缶詰	29.6kg
全国農業協同組合連合会	牛乳	24kg	明治ホールディングス株式会社	菓子、レトルト食品	116kg
ソニーカスタマーサービス株式会社	防災備蓄食品	186.5kg	モランボン株式会社	防災備蓄食品、惣菜用調味料	476kg
損害保険ジャパン株式会社	防災備蓄食品	39.6kg	モンテ物産株式会社	調味料、飲料	909.5kg
ちばぎんカード株式会社	防災備蓄食品	167.8kg	八千代リハビリテーション病院	防災備蓄食品	113.4kg
株式会社千葉銀行	米、防災備蓄食品 他	741.5kg	ヤマサ醤油株式会社	調味料	2682.7kg
千葉県市町村総合事務組合	防災備蓄食品	103.5kg	UAゼンセン旭化成労働組合	防災備蓄食品	141.3kg
千葉県社会福祉協議会	防災備蓄食品	116.6kg	リコージャパン株式会社	防災備蓄食品	31.2kg
千葉県中古自動車販売協会	防災備蓄食品、飲料	97kg	株式会社ローソン	菓子、レトルト食品	31.2kg

2024年度報告：フードバンクちばはサポート会の皆さんに支えられています。

【個人会員】90名

【団体・法人会員】81団体（敬称略）

社会福祉協議会

旭市社会福祉協議会
我孫子市社会福祉協議会
いすみ市社会福祉協議会
市原市社会福祉協議会
印西市社会福祉協議会
浦安市社会福祉協議会
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
鴨川市社会福祉協議会
神崎町社会福祉協議会
栄町社会福祉協議会
佐倉市社会福祉協議会
山武市社会福祉協議会
酒々井町社会福祉協議会
白井市社会福祉協議会
袖ヶ浦市社会福祉協議会
多古町社会福祉協議会
東金市社会福祉協議会
東庄町社会福祉協議会
富里市社会福祉協議会
長柄町社会福祉協議会
習志野市社会福祉協議会
成田市社会福祉協議会
野田市社会福祉協議会
富津市社会福祉協議会
松戸市社会福祉協議会
南房総市社会福祉協議会
八街市社会福祉協議会
八千代市社会福祉協議会
横芝光町社会福祉協議会

企業

株式会社千葉ケイテクノ
株式会社銚子丸
有限会社平山牧場
三木造園土木株式会社
株式会社ライフ食品研究所

中核地域生活支援センター・生活困窮者自立相談等相談機関関係団体

柏市地域生活支援センターあいネット
特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎
特定非営利活動法人長生夷隅地域のくらしを支える会
社会福祉法人福祉楽園
社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特定非営利活動法人リンク

福祉施設・子ども食堂関係団体

おむすび食堂
鴨川みんなの食堂
木更津みとこ子ども食堂
キタナラ子ども食堂

幸福軒こども食堂

乳児院コムニティ長柄

NPO法人さくら

就労継続支援 B型事業所「じねん」

社会福祉法人生活クラブ

NPO法人想創

社会福祉法人習愛会花の実園

富津子ども食堂 きみはま さっちゃん食堂

ふなばし子ども食堂ネットワーク

NPO ブライト

生協関係団体

千葉県生活協同組合連合会
生活協同組合コープみらい
生活クラブ生活協同組合
生活協同組合パルシステム千葉
なのはな生活協同組合

その他の団体

一般社団法人大浦事務所
日本聖公会鴨川聖フランシス教会
さくら・市民ネットワーク
千葉県協同組合提携推進協議会
千葉友の会
フード連合千葉地区協議会
明治大学政治経済学部
UAゼンセン千葉県支部
一般社団法人労働者社会福祉協議会
千葉ロータリークラブ会員企業

 旭建設 旭建設株式会社
新昭和グループ

 株式会社京葉美装 株式会社京葉美装

 株式会社向後構造設計事務所

 さくらい歯科医院 真葉会 医療法人社団真葉会さくらい歯科医院

 翠昂会 社会福祉法人翠昂会

人を想う、セレモニー

 博全社 SOU セレモニー株式会社

 大成建設 大成建設株式会社
藤海ビルサービス株式会社

 フィデス株式会社

 フジセイコー株式会社

 株式会社千葉マツダ

 REPCO 株式会社レプロ

2024年度報告：たくさんのご寄付・助成金をいただきました。

【寄付：団体・企業】（敬称略）

163.4万円

あいおいニッセイ同様損害保険株式会社千葉支店

生長の家千葉教区白鳩会・KDDI株式会社南関東総支社

税理士法人税務総合事務所・千葉県中古自動車販売協会

千葉ロータリークラブ・株式会社日本資産総研・立正佼成会千葉教会 他

【寄付：個人】 96件

194.8万円

【主な助成金】

令和6年度千葉県フードバンク活動物価高騰対策支援事業補助金 1298万円

令和6年度食品ロス削減総合対策事業 87万円

パルシステム千葉コミュニティ活動助成 30万円

赤い羽根共同募金助成 30万円

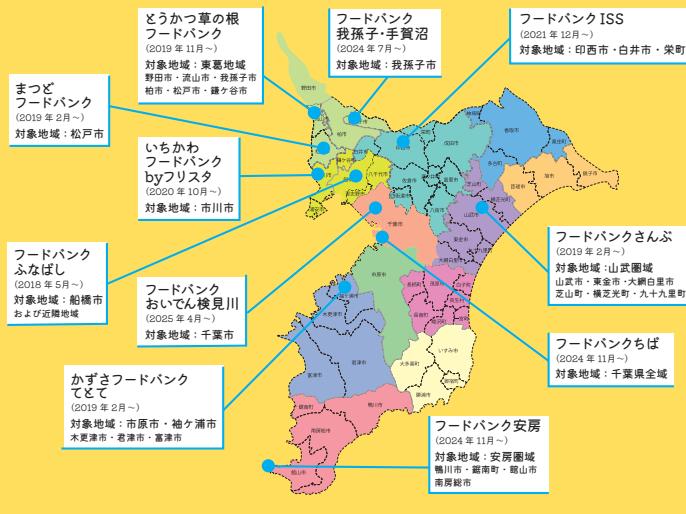
千葉県フードバンク団体連絡会の活動について

フードバンクちばは、千葉県フードバンク団体連絡会（以下、連絡会）の事務局として、フードバンク団体の連絡調整・情報共有・寄贈品の分配等の機能を担っています。連絡会は、2023年に8団体で設立しましたが、現在では11団体に増えました。また、社会福祉協議会や中核生活支援センター等の中にもフードバンクの機能を持つところも増えており、それぞれの地域の中で食品を循環できる体制が少しづつ整ってきています。そうした動きを見極めながら、必要なところに必要な食品を届けられるよう、今後も後方支援を続けていきます。行政や企業からの大口寄贈については、参加団体で分配する仕組みも整備されつつあります。6月にはライオンズクラブ国際協会333-C地区より粉ミルク購入のための寄付をいただき、購入した商品を各団体へ配達しました。生活協同組合が実施するフードバンク応援食品セットの購入で寄贈された食品も参加団体で分配し、県内の食支援活動で活用されています。また、定例会を通じて定期的に顔を合わせることで、団体間の結束も強まっています。9月には「フードバンク安房」の視察に加え、「令和7年度千葉県フードバンク活動支援事業補助金」の説明会、館山市にある女性長期入所施設「かにた婦人の村」の見学等を実施しました。このように、フードバンク活動を続けていく上で欠かせない関係団体への視察や情報提供、補助金や各種助成金の案内等にも積極的に取り組んでいます。



千葉県フードバンク団体連絡会のメンバーであり、フードバンクちばとしても大変お世話になった「かずさフードバンクてとて」の植木康博さんが今年9月に急逝されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

千葉県フードバンク団体連絡会（2025年10月現在）



フードバンク活動の継続にご協力ください！

フードバンク活動は、「食品を寄付する側も、提供を受ける側も営利を目的としない」という無償性の原則を大切にしています。この無償性こそが活動のアイデンティティであり、多くの方々の共感やご支援が原動力となっています。しかしながら、フードバンクへのニーズが年々高まる中で、活動規模の拡大に伴い、支援に必要な食品・担い手・資金の確保が課題となっています。これらの課題は今後も継続していくと考えられます。さらにフードバンクちばは、使用する建物に隣接する「花の駅そが」公園の維持管理も担っており、美化活動や公園利用の活性化も課題の1つです。これらの課題解決に向けて、皆さまからのご意見・ご助言を心よりお待ちしております。ご連絡は、公式ホームページの「お問い合わせフォーム」よりお寄せください。

Problem 1. 寄付先の開拓・営業

- 寄付・寄贈・担い手等、様々な角度から企業や団体、個人へのアプローチが重要であるが、営業にかけられる人手や時間が十分ではない。
- 活動資金の安定確保のため、継続寄付・サポート会員の拡大が重要な鍵
- ネット寄付の仕組みを導入したが、周知が不十分

Problem 2. 新たな人材の確保

- 活動開始時から10年以上が経過し、スタッフやボランティアも高齢化、肉体的にも負担が増加
- IT化の進展に対応できる専門スタッフの確保
- SNS等でリアルタイムの情報発信

Problem 3. 「花の駅そが」公園に活気を取り戻す

- 周辺の商業エリアが再開発され、公園の活性化が望まれている。
- 地域に根づくコミュニティづくりイベントの開催・定着を図りたい。

次回イベント開催予定：2025年12月13日（土）11:00～

Join our team
体力に自信のある方
IT系が得意な方
**スタッフ
ボランティア
募集中**

「フードバンクちばサポート会」入会のご案内

フードバンクちばの活動は、サポート会費や寄付に支えられています。ぜひサポート会への入会および寄付をご検討いただき、財政面からのバックアップをお願いいたします。

＜サポート会入会方法＞

郵便局の振込用紙の備考欄にお名前と連絡先、個人・団体のいづれかを明記し、下記口座に会費をご入金ください。

＜会費＞

個人サポート会員：1口2,000円／年（1口以上）

法人・団体サポート会員：1口10,000円／年（1口以上）

＜会費納入先＞

- 郵便振替口座

口座番号：00160-8-486977

口座名義：フードバンクちばサポート会

- ゆうちょ以外からの振込先

銀行名：ゆうちょ銀行

種別：当座 支店名：〇一九店

口座番号：0486977

口座名義：フードバンクちばサポート会 入会特典の缶バッジ



詳しくは公式ホームページをご覧ください！

i <http://foodbank-chiba.com>

043-301-4025 平日10:00～17:00 043-301-4026

※スタッフ不在の場合は留守番電話にメッセージをお伝えください。

フードバンクちば 〒260-0835 千葉市中央区川崎町 60（花の駅そが内）



この会報は共同募金の助成により発行されています。